

## **PRESS RELEASE**

報道関係者各位

2020年3月19日

中央労働災害防止協会

# **飲食店向け安全衛生教育動画を開発**

中央労働災害防止協会（中災防：理事長 八牧 暢行）は、飲食店で働く人を対象とした安全衛生の動画教材「安全で健康な12ヵ月を過ごすために 飲食店で働く皆さんへ」を開発しました（令和元年度厚生労働省補助事業）。3月20日から中災防ホームページ内（<https://www.jisha.or.jp/resutaurant/movie/chapter.html>）で公開します。

第三次産業はパート・アルバイトなど非正規雇用の従業員が多く、職場でのけがや疾病を防ぐための安全衛生教育を継続的に進めることが課題といわれています。飲食店でも毎年約5,000人が被災しています。そこで、飲食店での労働災害を予防・防止する観点から、職場で日常的に活用でき、従業員も手軽に学べる教材を作りました。

飲食店で特に気をつけたい災害について月替わりで学べるよう、1ヵ月1テーマでまとめ、それぞれイラスト動画で注意するポイントなどを解説しています。

例えば、新入者を迎える4月は挨拶やコミュニケーション、6月は感染症予防のための正しい手洗い方法など衛生の徹底、繁忙月の12月は慌ただしい中で発生しやすいやけどの危険（別紙：画面イメージ）などをまとめました。

各月1～2分程度の構成のため、12ヵ月分を再生しても約17分で見られるのが特徴。職場の実情に合わせて、月に関係なく自由にテーマを選んで使用することもできます。パソコンだけでなく、タブレットやスマートフォンからアクセスして無料で利用できるため、従業員自身が日常の中で見るなどして、労働安全衛生に対する意識を高めるのにも有効です。

中災防は今後も、さまざまな利用者ニーズを踏まえて労働災害の防止・対策に関する電子教材の開発・普及を図っていきます。

※この資料は、厚生労働記者会、厚生労働省労政記者クラブ、日比谷クラブに配布しています。

【照会先】中央労働災害防止協会 総務部広報課（高橋、道野、池田）

電話：03（3452）6449 E-mail：koho@jisha.or.jp

中災防 安全衛生教育動画

「安全で健康な12ヵ月を過ごすために 飲食店で働く皆さんへ」

**12月 身近にあるやけどの危険**

**JISHA 中災防**  
Japan Industrial Safety & Health Association

作業スペースが狭い

オープンや器が熱かった

お客様の呼びかけにふりむいて

通路が暗い

油がはねた

思いがけず大きな炎がでた

すみませ〜ん

**こんなところに要注意!**

11:16